

5.17

■司会 高杉 良知<広島県> 広島県教育委員会生涯学習課主査兼社会教育係長
甲田真理子<熊本県> 熊本県教育庁社会教育課社会教育主事

1. 総合行政によるまちづくりと生涯学習の推進

14:15～14:40

井関 嘉昭<長崎県> 琴海町教育委員会派遣社会教育主事

一般行政部局、教育行政部局が一体となり、まちづくり事業、地域住民への生涯学習に関する意識・活動の実態を把握するための各種調査、生涯学習の推進を図るため社会教育委員会への諮問に基づく答申等に取り組んできた。その過程、成果、課題について発表する。

2. 衛星通信利用による広域公開講座

14:40～15:05

— 高等教育機関と公民館の連携の試み —

新田 憲章<広島県> 広島県教育委員会生涯学習課社会教育主事

高度化、専門化している学習ニーズに対応するため、高等教育機関と地方公共団体との連携による公開講座が各地で開催されるようになった。しかしながら、高等教育機関がない等地理的、時間的制約があり、自由に学習機会を選択して学ぶことが困難な地域もある。そこで、衛星通信を利用して、広域地域へ公開講座を提供できる実証的な調査研究を実施した。その成果及び課題について発表する。

～ ティータイム ～

15:05～15:40

3. 「かごしま県民大学」学習機会体系化構想と調査研究の成果

15:40～16:05

上野 正一<鹿児島県> 鹿児島県教育庁社会教育課指導主事

県下全域を生涯学習のキャンパスとすることを目指し、「かごしま県民大学」構想を打ち立て、様々な機関が連携して学習機会を提供している。今後はそれぞれの機関が独自に行っている学習機会を体系化し、統一化した評価と活用のシステムを開発することが課題である。そのため大学教授等からなる「かごしま県民大学」学習機会体系化調査研究会を設置し、検討を行っている。

4. 公民館の模索 — 成人講座「街ぐわー経済学儲き塾」 —

16:05～16:30

山田 民子<沖縄県> 那覇市教育委員会生涯学習課社会教育指導員

これからの沖縄を背負って立つ若者に、地域の力になってもらうための方法を模索した結果、この講座が生まれた。この講座では、若者が中心となり、すべての人に公民館を利用してもらうためにはどのようにすればいいのかを考察した。さらに、考察に基づき企画を立案し、実施した。この講座を設けた経緯、過程、成果、課題について発表を行う。

5. 総括討論

16:30～17:00